

千代田界隈のレトロな風景



スーパーブルーブラッドムーン

1月31日 21時51分 皆既月食の直前です。

み
ど
り
の
風

2018.3.1
-NO.234-

人・ひと日記

小林 功
韓国での冬期オリンピック。プログラムもそろそろ終盤です。日本選手の活躍はすばらしく現在メダリストの獲得数は十個。金メダルは羽生選手と小平選手に続き昨夜はパシュートというスケート競技で高木選手を中心とする日本チームが優勝。毎日のように登場する名場面と感動物語の数々で最初のころの記憶が薄くなってしましましたが、開会式を観たのが優勝。画面の中にキム・ヨナが映るに違いないと目をこらしていきました。開会式のテレビ画面の中には、聖火の点火役として姿を見せてくれました。もう一回はこれ以上無いくらいの晴天でした。

発行 社会福祉法人 悠朋会
相模原市中央区千代田2-4-1
千代田ディサービスセンター 042-751-0672
ヘルパーステーション千代田 042-704-0261
千代田介護支援センター 042-704-0281
千代田相談支援センター 042-707-1434

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

地球に接近し大きく見える月は「スーパームーン」。満月の時の月は「ブルームーン」。月食のときの赤く見える月は「ブラッドムーン」。地球上でこの三つが重なるのを観察できるのは150年ぶり(前回は江戸時代のこと)で、次回は2037年ということです。気になるのはその日のお天気!。今日はこれ以上無いくらいの晴天でした。

小林 功
韓国人たちはアン・ジョンハン氏。2002年ワールドカップ日本大韓大会で活躍。Jリーグにも一時在籍したストライカー。その後情報がありませんでしたが、この開会式の聖火ランナーの一員として登場しました。痩身の美男子が太めのおじさんになつて映っていました。「北朝鮮」も話題になりました。スポーツや芸術が良い関係作りのきっかけになることは期待で楽しみます。日本と中国の国交回復のきっかけは「ピンポン」からでした。少なくとも対話が続けられる限り武力衝突回避できます。オリンピック後の一歩を見守りましょう。

そろそろ三月になりますが、寒い日が続いています。近頃の夏の暑さが尋常でなく、さらに長期間にわたる集中豪雨の裏返しのような寒さと豪雪の毎日。地球の気象に異変が起きているのでは・・・と不安になります。

アクティブサンデー（巾着作り）



今月のアクティブサンデーは利用者さんからミシンを使って物作りをしたいと要望があったので、巾着作りを行いました。自分の好きな布を選び、職員にミシンの使い方を教わりながら、真剣に取り組まれていました。出来上がりも楽しみです。

芋 煮 会



今月の行事食は芋煮会でした。職員が割烹着、三角巾を付けて、皆さんに芋煮とおにぎりを配り歩きました。いつもとは違う雰囲気だった為か、会話も食事も弾まれて、芋煮をおかわりされる方も多くいて、大好評でした。



節 分



今年の節分は例年とは違い、節分にちなんだ紙芝居を職員が行ない、年男・年女の方は袴を着て、成田山新勝寺をイメージして作られた台座に上がって一段上から豆まきをしてもらいました。赤鬼と青鬼には例年通りに来てもらいましたが、今年も利用者さんにおもいっきり豆を投げつけられて、泣いて帰っていきました。

2月交流スペース：季節の壁画



今月の市民交流スペースはデイサービスの利用者さんが作った季節の壁画が展示されていました。



3月の予定



おやつ作り（どら焼き）

体重測定	1日（木）、2日（金） 5日（月）～11日（日）	ビュッフェ おやつ作り（おはぎ）	16日（金）
交流会	5日（月）、9日（金）		19日（月）、20日（火）
キーボード演奏	11日（日）	誕生会	25日（日）～31日（土）
書道	12日（月）、15日（木）	民謡	27日（火）
折り紙	15日（木）	シナプソロジー	29日（木）

さがみはら介護・福祉のしごと就職相談会

—福祉施設が集結した相談会形式—

「介護・福祉のしごと 就職相談会」が開催され懇親会として2回目の出展をして参りました。

高齢者人口が増加している中、相模原市で約2千人の介護職員が不足していると推計されており相模原市主催のもと開催されたものです。事前にハローワークや公共施設、大蔵校内、駅構内などに案内が掲示されており当日は50名程の来場者があったのではないかと感じています。会場には介護福祉コーナーに28法人、障害福祉コーナーに7法人の出展がありました。来場の方々には入り口で、出展法人の概要の小冊子が配られ興味のある法人ブースで相談を受けるといった流れです。「シンシユルジュの方や市の職員さんの案内でブースに向かれる方もありました。

50名程の来場者があつたのではないかと感じています。会場には介護福祉コーナーに28法人、障害福祉コーナーに7法人の出展がありました。来場の方々には入り口で、出展法人の概要の小冊子が配られ興味のある法人ブースで相談を受けるといった流れです。「シンシユルジュの方や市の職員さんの案内でブースに向かれる方もありました。



悠朋会のブースではティーサービスから田島とヘルパーステーションから渡辺の2人で相談を受付させて頂きました。お陰様で他のブースに比べ当法人のブースは大盛況で開催時間180分の間で6名(男女3名ずつ)の方々が相談にみました。介護職の経験がなく資格取得からお考えの方やご事情でブランクのあつた方などでした。ご都合に合わせた働き方ができる事や法人の特色などをお話しさせて頂きました。実際に面接まで繋がった方は2名です。介護職員不足が解決できる対策を法人内でも模索していきたいと思っています。

ヘルパーステーション千代田

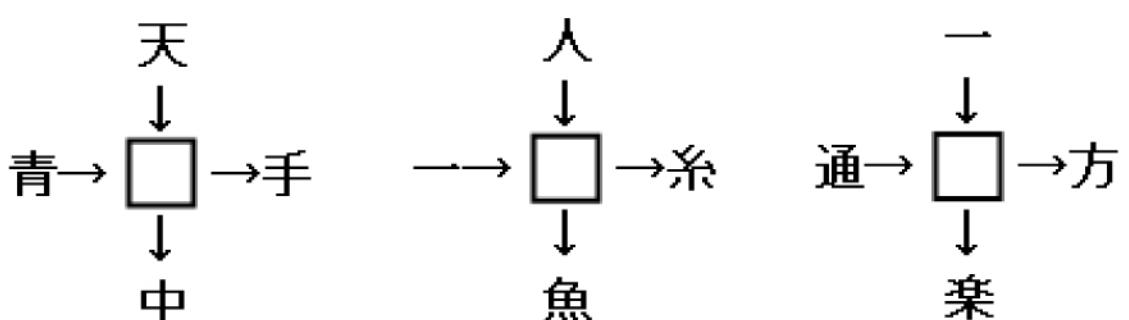
渡辺真由美



□い頭を○くする 頭の体操

ケアマネのつぶやき

一月往ぬる 二月逃げる 三月去る(イチゲツイヌル ニゲツニゲル サンゲツサル)の言葉通り、あっという間に2か月が過ぎました。そんなこんなで久々の頭の体操です。真ん中の□に入る漢字一文字を考えてみましょう。答えがどうしても分からなくても、頭を使う事が大事ですよ。



惠方巻。いつも間にやら我が家でも定着しつつあります。とりあえず儀式は無視して、購入した恵方巻を食べやすい大きさに切りました。私が恵方巻には興味を示さなかつたためか、私の分だけは海鮮巻でした。もちろんあります。無言で食べる、できそうにありません。H

編集後記

答案：空 行